

福島第一原発事故を受けた対応アンケートの回答用紙

(回答欄が足りない場合は別の用紙をお使い下さって結構です)

『週刊金曜日』原発震災取材班
(ファクス 03-3221-8532)

御中

①福島第一原発の事故を受け、どのような対応をとられましたか。今後取る予定はありますか。具体的にお教え下さい。

添付回答のとおり

②原発や核関連施設を運転（もしくは建設）している電気事業者に申し入れや問い合わせをしましたか。当てはまるほうに○をおつけ下さい。

はい いいえ

②-1 「はい」と答えられた方にお聞きします。日時、内容を具体的にお教え下さい。

平成23年3月20日に東京電力に申し入れ。内容は別紙のとおり。

②-2 「いいえ」と答えられた方は、その理由をお教え下さい。

③福島第一原発の事故で、東京電力は「想定外」を繰り返しています。現在、貴道県に立地（もしくは建設）されている原発や核関連施設の耐震性、津波に対する対応が現状で万全だと考えますか。当てはまる方に○をおつけ下さい。

はい いいえ

③-1 「はい」と答えられた方は、その理由をお教え下さい。

③-2 「いいえ」と答えられた方は、今後、どのように対応されるかをお教え下さい。今後の福島第1原子力発電所の事故の検証結果などを見極めて、対応を検討する。

④活動期に入ったとの説がある「地震大国」日本で、原発を運転し続けることに不安の声が上がっています。自民党の谷垣禎一総裁がは後の原発推進を見直す考えを表明、枝野幸男官房長官は記者会見で、谷垣総裁発言について「至極当然のことだ。まっとうな発言だ」と述べました。現在の原発をどうすべきか、当てはまるものに○をおつけ下さい。

- 1) このまま運転を続けるべき
- 2) 運転しながら安全対策を強化していくべき
- 3) 「想定外」を防ぐため、いったん止めて対応を検討すべき
- 4) 事故時の被害が甚大なので、やめて別の発電方法に切り替えていくべき
- 5) その他

福島第1原子力発電所の事故の検証結果などを見極めて、対応を検討する。なお、エネルギー政策については国民的議論が必要だと考えている。

ご協力ありがとうございました。状況の変化に応じてまたお聞きすることがありましたら、そのときはよろしく願いいたします。

貴道県名 (新潟県)
お名前 ()

アンケート回答

①

○今まで行った対応

- ・ 遠距離避難された被災者を県内の市町村の協力を得て、4月5日現在約8,000人を受け入れ。
- ・ 避難されてきた被災者の相談所、スクリーニング実施場所を設けて対応。
- ・ 福島県の要請を受けて、主食系約66万食（のべ24日間）を応援物資として新潟県内から供給。
- ・ 県内6ヶ所に可搬型モニタリングポストを設置し、1時間毎のデータを公表。
- ・ モニタリングカーを福島県に隣接する市町村に沿って走らせ、放射線量を測定、公表。
- ・ 河川水、水道水、食物に含まれる放射線を毎日分析し、公表。
- ・ 福島県に派遣する職員の被ばく線量の基準を作成した。

○今後の対応

- ・ 福島県に、今後、必要となる応援を実施していく。
- ・ 状況の変化に応じ、環境モニタリング体制強化、被ばく防護対策等を実施していく。
- ・ 地域防災計画（原子力災害対策編）の見直し

平成23年3月20日

東京電力株式会社

取締役社長 清水正孝 様

新潟県知事 泉田裕彦

柏崎市長 会田洋

刈羽村長 品田宏夫

この度の貴社福島第一、第二原子力発電所における、想定を超える津波等による水素爆発や放射性物質の漏えい等の原子力災害を踏まえ、住民の不安はかつてなく高まっています。

ついては、柏崎刈羽原子力発電所に関して、現状の安全対策等について抜本的に見直しを行い、万全の対応をとることを求めます。